

令和4年度事業報告書		事業所名	アクアジム	作成者	近藤 佳奈	作成日	R5.3.31
目標	本年テーマ	(計画)運動を継続する事の大切さを知る					
		(評価)自宅でも継続して運動している人はまだ少ない。体の変化等を伝える事ができていなかった。					
基本処遇及び運営	■令和4年度処遇及び運営方針に対する評価						
	(計画)						
	①勉強会(内部研修)を行い、運動や体の事に関しての専門的な知識を身に着け全職員スキルアップを目指す。						
	②ご利用者様1人1人の姿勢を観察し知る事で、その方に合った声掛けを行うことができる。						
	③身体を動かす事の楽しさと、達成感を感じて頂ける様に援助していく。						
	(評価)						
	①運動について少しずつスキルアップできてきた。何のための運動かを理解し説明することができなかった。						
	②手を貸してしまうが多かったように感じた。ご利用者様の歩行状態や姿勢を知り、介助や声かけを考えていきたい。						
	③いつもの運動の他にテレビ体操やコグニサイズを行った。楽しそうに運動されている方が多く笑顔も多くみられた。						
研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		通所ケア大会	2名(近藤・白石)				
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		事業所会議	1人1人がしっかり意見を出し合うことが出来ていた。	内部研修:運動について	新しい運動も増えてきた為、しっかり勉強していきたい。		
		事故予防会議	事故は少なくヒヤリが多かった。未然に防ぐ為の話し合いを続けている。	内部研修:身体拘束について	色々な場面を想定して考えることができた。		
		相談員会議	他事業所の相談員と意見交換の場になっている。	内部研修:感染症対策について	スタッフ間だけでなくご利用者様にも周知することが出来た。		
		安全衛生委員会	本部で体操教室が開催され参加することが出来た。	内部研修:運動意欲を低下させない声かけの仕方	ご利用者様と一緒に体を動かしながら声かけをしていた。その方によって変えるなど工夫しながら行っていた。		
		就活委員会	しおかぜをもっと知ってもらう為の動きを今後も考えていく。				
		台場会議	立ち上げに関らせて頂いて色々と学ぶことが出来た。				
	地域支援委員会	地域体操(下津井・上の町)に指導に行かせてもらった。今後もできるだけ続けていきたい。					

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	7月	8月	避難訓練(火災)	駐車場への避難を行ったが、ご利用者様も慌てずスタッフの誘導に落ち着いて行動できていた。
	11月	11月	避難訓練(地震)	経路・場所を確認した。今回も車で移動したが実際に地震が起きた場合は道路が寸断されることも考えた動きを考えていかなければならない。
	3月	3月	避難訓練(水害)	高台への避難を考えて琴浦支援学校にしていたが、土砂災害警戒区域の為、次回からは避難場所を変更する。

■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
月 度	
4月	屋外歩行訓練 ～お花見(チャチャ茶屋町・電车道花見)～
5月	土曜日出勤 見学会(ケアマネ対象) 内部研修【運動について】 菖蒲湯 → 変更:温泉の素・レモネード
6月	健康講座【食中毒について】
7月	土曜日出勤(プール掃除) 内部研修『身体拘束について』 七夕
8月	かき氷
9月	敬老行事(お菓子プレゼント)
10月	日帰り旅行 ・9/16(金)・10/17(月) ー福山方面:笠岡ベイファーム～都あけぼので食事ー
11月	通所ケア研修勉強会(福山) ・11/12(土) 創設11周年記念(カレンダー作成) → 変更:写真集作成
12月	土曜日出勤(大掃除) 内部研修【通所ケア研修報告・感染症対策について】 ゆず湯・ゆず茶
1月	土曜日出勤(プール掃除) 内部研修【運動意欲を低下させない声のかけ方】 屋外歩行訓練 ー初詣(新庄八幡宮～マルナカで買い物)ー
2月	健康講座【感染症について】
3月	屋外歩行訓練(雛巡り) → 変更:温泉の素・ハニージンジャー

(総評)

- ・今年度は感染予防をしっかり行いながら外出行事も再開し、ご利用者様が1番楽しみにされていた日帰り旅行にも行くことができた。新型コロナウイルス感染者も数名出たが、すぐ隔離をする等感染を広げることなく対処できたと思う。新型コロナウイルス感染症も含めた感染症についての健康講座を行った事で、ご利用者様自身が感染予防を考え実践し、無理をしない体調管理も出来るようになった事で長期休まれる方が少なくなってきた。体力を落とさない為にも自宅での運動の継続が大事だが、出来ていないのが現状。職員も運動や声掛けの仕方などの内部研修も行い実践しているが、もう少し体の変化や数字等、目で見て分かるような伝え方を考えていかなければならない。また、個別運動のマンネリ化が見られてきた為、測定時や体の変化に合わせてその都度変更を行った。通常運動に加えテレビ体操やコグニサイズを今後も実施していきたい。
- ・数値目標に関しては、新規利用者確保が出来なかった事と長期休まれる方が多かった事もあり、稼働率も上らず当初予算の数値には届かない結果になってしまった。ご利用者様や各事業所様からの紹介で見学に来ていただいた方をしっかり確保できるようにしていきたい。
- ・見守りや介助が必要な方が増えてきている中で、アクアジム職員は少数精鋭で頑張ってくれている。職員間の雰囲気そのままアクアジムを作っていると思う。忙しい中での報連相をしっかり行いながら、ご利用者様には運動を楽しんで頂けるよう支援していきたい。